

会議の名称	議員定数・報酬等検討 特別委員会 政務活動費分科会	開催月日・令和7年9月26日 開会時間・午前・午後01時29分 閉会時間・午前・午後02時03分
出席者	後藤 徹 安井 智子 川柳 雅裕 後藤 國弘 南谷 佳寛 山田 紗治	
欠席者		
オブザーバー		
傍聴者		
説明のために 出席した者	森議会総務課主任	
協議事項	・政務活動費について	

【開会＝午後 1 時 29 分】

山田座長

ただいまから政務活動費分科会を開催いたします。本日は政務活動費について協議いたします。

令和 7 年 1 月 31 日の分科会において、支給金額を年額 15 万円とすること、支給方法を現在の会派支給から個人支給に変更することで一致いたしました。

しかし、その後市民アンケートを実施し、市民から多様な意見が出されました。そのアンケート結果を参考にしながら、分科会において再度、支給金額と支給方法について協議してまいりたいと思います。

アンケート結果についてはご覧いただいていると思いますが、議会事務局から簡単に説明させていただきます。

議会総務課員

資料をご覧ください。まず 1 ページ目です。「政務活動費（1 人年額 8 万円）をどう思いますか」という設問に関しては、「わからない」が最も多く 59%でした。「多い」、「少ない」、「ちょうどよい」はほとんど同じような結果になりました。

「わからない」を除くと、「多い」が 34%、「少ない」が 21%、「ちょうどよい」が 30%で、やはり議員定数や議員報酬に比べると、極端に「多い」の回答が多かったということはありませんでした。

次の 2 ページ目で、いろいろなご意見があったのですが、大まかに申しますと、「多い」を選んだ方は「活動内容が見えない」、「何に使われているのかが分からぬから多いと思う」という意見がありました。

「少ない」を選んだ方は、「市民の意見を吸い上げるには年額 8 万円では不十分だ」という意見です。

「ちょうどよい」と回答された方に関しては、理由はさまざまですが妥当だということが書かれていました。

3 ページ目をお願いいたします。「金額を変更する場合の判断材料」についてですが、半分以上が他市との平均で決めてほしいという意見で、「政務活動費自体を廃止してほしい」という意見は 20%程度にとどまっていることが分かりました。

他市との平均でも、県内ではなく同規模人口の自治体との平均で決めてほしいという意見が多く、今まで分科会では県内平均で考えていたと思いますが、市民の考え方方が違ったことが分かりました。

4 ページ目については先ほどと重複していますので、省

	<p>略させていただきます。</p> <p>5ページ目です。「政務活動費をどのように使ってほしいですか」という設問では、最も多かったのが「市政報告会など市民の意見を聴く広聴活動」で、陳情処理の場も設けてほしいという意見が最も多かったです。</p> <p>「チラシなどを配る広報活動」がその次で、ほとんど同値で「行政視察などの調査活動」をしてほしいという意見が続きました。</p> <p>6ページ目が政務活動費に関する自由意見です。やはり「使途の見える化」、「完全公開」ということで、使途をしつかり分かりやすく示してほしいという要望が多くありました。</p> <p>これはすでに実施していることではありますが、国會議員がもらえるお金と誤解して、年額8万円を何もしなくてももらえるお金だと思っている方もいらっしゃいましたが、見える化をしつかりしていただければいいという意見が多かったように思います。</p> <p>7ページ目です。これは今までお示しした資料を簡単にまとめたもので、最初に他市との比較です。</p> <p>市民アンケートでは、県内ではなく同規模人口の平均を見てほしいという意見が最も多かったのですが、同規模人口だと年額24万円ほど、県内だと年額17万円ほどです。これは極端に高額な政務活動費を支給しているところを除いた平均です。</p> <p>下表は、年度ごとの政務活動費支出状況です。大体、調査活動に6割ほどのお金が使われて、広報活動は3割ほどとなっています。市民の需要が一番多かった広聴活動は今のところ0%で、市民の求めているものと実際の使い方が一致していないように見受けられることが分かりました。</p>
山田座長	まず支給方法について、先ほど申し上げましたように、会派支給から個人支給へ変更することで決めていただきましたが、再度、決定していきたいと思いますので、その辺りのご意見をいただけませんでしょうか。
南谷佳寛委員	私はどちらでもいいです。
山田座長	個人支給ということでおろしいですか、今までどおり会派で使うこともできますし。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

山田座長	<p>支給方法は個人支給でいきたいと思います。</p> <p>支給金額ですが、年額 15 万円ということで合意を得ましたが、その後、市民アンケートや意見交換会があり、市民の様々な声を聴きました。</p> <p>市民には年額 15 万円という案は発表していませんが、私の感触としても、少ないのでないかという思いがあります。年額 15 万円と決めましたが、本当に活動しようと思えば少ないように思います。</p> <p>県内平均と同規模人口の自治体との平均と比較してもかなり差があります。その点も含めて、ご意見を聞かせていただきたいと思います。</p>
安井委員	<p>増やすのはいいけれど使途を明確にしてほしいという声がありました。その点をしっかりとすれば増やしてもいいと考えます。県内平均が年額 17 万円でしたので、年額 17 万円までだったら大丈夫かと思いました。</p>
山田座長	<p>年額 15 万円以下は考えずに、ご意見はございますか。</p>
川柳委員	<p>今までの 8 万円があまりにも低かったので、倍近くになるという感覚でしたが、年額 8 万円のことは頭の中から捨てて、年額 15 万円を基本にして考えればいいと思います。私は年額 15 万円で、足りなければ自分で出せばいいと思います。</p> <p>ただ、本当に今まで足りなかつたのか、あっただけ使っていたのか分かりませんが、歯止めも必要だと思います。</p> <p>年額 15 万円まで増額することは前進だと思いますので、私は納得しています。</p>

後藤國弘委員	<p>市民は政務活動費がいくらであるか、ほとんどの方は知らない状況にあると思っています。なので年額 15 万円から議論を始めることは正解だと思います。</p> <p>この間、全国市議会議長会で札幌市に行ったとき、各地の議長が集まって話をしていました。そこで黒部市の議長と政務活動費の話をするとき、「うちは 3 万円ですよ、毎月」とのことでした。年額 36 万円です。</p> <p>黒部市は 4 万人から 5 万人の市ですが、そういった全国の大会や研修会に多くの議員が一緒に来ていました。視野が広がるので、そういった機会を議員に体験していただくのはいいと思います。</p> <p>最初に年額 24 万円ぐらいという話はしたのですが、とりあえず年額 15 万円にすることはいいと思っています。</p>
山田座長	<p>なかなか上げることはできません。こういう議論ができるようになったのは、今の時代の流れだからだと思います。これから物価が上がってきますからね。</p>
川柳委員	<p>今回の議案でも、公職選挙法の改正の関係でポスターとビラの議案が上がっていて、10%ほど上がっていますので、年額 15 万円を基本にして 10%ほど上げてもいいと思います。</p> <p>物価がまだ上がりそうですし、例えば印刷屋に印刷を頼んだときも、2、3 年前の倍になっています。年額 15 万円を基本にすれば、年額 16、17 万円もありだと思いますし、少しづつ上げるより、一度に上げたほうがいいと考えます。</p>
山田座長	<p>市民の意見交換会やアンケートをとっています。何もしないと「勝手にやった」と言われてしまいますが、特に意見交換会は、市民からの積極的な後押しがあったと感じています。そういうことから増額したほうがいいと思います。</p>
安井委員	<p>黒部市の話で、月 3 万円と年額 36 万円では聞いたときの感覚が違うので、月額で考えてみると月 1 万 5,000 円の年額 18 万円まではいいと思いました。</p> <p>今までも 8 万円と言うと「毎月もらえていいですね」と言わされたことがあります。年額であると伝えると驚かれましたが、私は年額 18 万円までいいと思います。</p> <p>市民アンケートの結果も「分からない」が多かったですし、意見としても「多いか少ないか分からない」、「何に使うか分からない」という方が多かったです。</p>

山田座長	アンケートでは他市の平均値は出していないので、市民は分からずに回答しています。ただ、意見交換会は平均値を説明しました。そこで、「今の年額8万円はおかしいな」と分かったと思います。
安井委員	個人で年額18万円いただいたとして使いきれるか分かりませんが、使えなかったら返せばいいですし、多めにしておいたほうが行動する議員のためになると思います。
山田座長	やはり陳情・要望に市長や議員が一人で行くのと複数人で行くのとでは迫力が違いますから。政務活動費から出せば追加で市に負担はかかりませんし。
川柳委員	年額15万円プラス10%ほどで考えれば、市民から何か言われても説得できる自信はあります。 ただ、市民アンケートの「政務活動費をどのように使ってほしいですか」という設問の「広聴活動」がどのようなものなのか分かりません。
議会総務課員	市政報告会等の会場の借上料やその際のペットボトル飲料代などが広聴費になります。
山田座長	広報広聴活動には費用がかかります。また、視察についてもしっかりと報告をすれば市民は納得すると思います。私は活動費を上げるべきだと思いますが、どうしますか。
	[「月額1万5,000円」と呼ぶ者あり]
山田座長	それでは、「月額1万5,000円の年額18万円」ということでよろしいですか。
	[「異議なし」と呼ぶ者あり]
山田座長	本日の協議結果では、支給金額は「月額1万5,000円の年額18万円」、支給方法は「個人支給」と決定しました。これにて本日の分科会は終了いたします。
	【閉会=午後2時3分】